

たかくまだより

R7.3.5 第10号 高塚熊野神社



ヤタカラ君

FMHaro「たかくまだより」第4木曜
17:35~

お知らせ 第11回 月例文化講座

3月29日(土) 15:00~

会場 = 熊野神社拝殿

演題 = 「先祖と子孫」縦の関係の存在

講師 = 宮司 戸塚昌宏

高塚南北子ども会共催

神様教えて

今回は、やまだこうき君(小学5年生)からの質問です。

Q お守りってどうやって作るの？中には何が入ってるの？

神社で作る場合もありますが、大半は専門の縫製(ほうせい)会社に注文、購入します。しかし、納入されたお守りは、そのままではお守りにならず、神社でご祈祷(きとう)して

はじめて「お守り」が完成します。お守りの材料は絹織物や和紙で、標準的な形は、右の写真のような袋状のもので、「袋守り」と呼ばれています。

お守りの中には、紙や木や金属に神様の名前や姿を書いた御神璽(ごしんじ)が納められています。皆さんの家の神棚などにある神札(写真右端)のミニチュアだと言えます。神札は家を守るもので、お守りは身につけて持ち歩き個人を守るものです。

※左写真の稲荷守りのように、神様ではなく、神様の使いであるキツネ、カラス、ヘビなどの動物が、袋に入らずむき出しでお守りになっているものもあります。



稲荷お守り



高塚熊野神社肌守り



安産守り



学業守り



熊野神社神札

ニュース 2月2日(日) 節分祭

厄払いの御祈禱を申し込まれた17人の方々が、「鬼は外、福は内」の声も大きく、豆まき・お菓子まきをしました。



子供さんが作った鬼



厄除け祈願

2月11日(火) 建国祭・祈年祭

建国記念の日(初代神武天皇が即位されたと言われる日)に、来賓の皆様列席のもと、建国祭と五穀豊穡を祈る祈年祭(本来は2月17日)を合わせて行いました。



澤柳総代長のピアノ伴奏で「紀元節」を斉唱



五穀豊穡を祈念して供えられた種粃(たねもみ)(写真右下)

トピックス 戦中の史料見つかる。

戦局が厳しさを増しつつあった昭和19年、大日本婦人会 総裁の東久邇宮聡子内親王の令旨(右端写真)を受けて、銃後を守る高塚の婦人たちが全員が陸海軍人の武運長久と米英撃推を熊野神社で祈願した光景が目につく史料です。民衆と、国家との結び付きが強かった神社との、戦後とは違う関わりが実感されます。

